

## 「科学と人間生活」授業・評価について

- ・教科書+ニューサポート「問題集」+プリントを準備しましょう。
- ・考査点8割+平常点2割で評価します。課題提出等が平常点に含まれます。
- ・休講期間中は、中学校で学習した内容を活用できる分野の熱、植物の生育と光を中心に学習します。
- ・課題は授業を進める代替りのものです。可能な限り決められた時間に行ってください。
- ・授業の最後にインターネットによるクイズがあります。接続できる環境であればぜひ答えて、学習の定着を確認してください。

**課題の提出日：5月20日(水)の登校時**

## 1 時間目 4月の課題の復習

2-2 5月13日(水)1限目 2-3 5月12日(火)5限目

本時の学習内容：「熱の性質とその利用」

本時の到達目標：1. 仕事率を求めることができる 2. 熱量を求めることができる

教科書該当ページ：1. ありません(中学校の復習) 2. p.129-130, 132

その他必要な教材：4月13日に配布した課題プリント

学習手順：①以下の1. と2. の問題を読む

②4月配布課題プリントと教科書を読む

③1. と2. の問題を解く。ヒントが必要であれば動画を見返す。

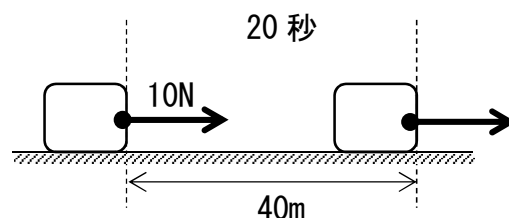
(通信制限等の問題もありますので動画視聴は強制ではありません。)

④問題の解答をインターネットで送信する。

(インターネット送信は評価の対象には含めませんが、学習の定着や将来必要になるネット申請等の練習になりますので極力行ってください。)

※動画や解答送信のページはQRコードから入ってください。

1. 図のように、水平面上で物体に  $10\text{ N}$  の一定の力を右向きに加え、20 秒間引き続けたところ、物体は一定の速さで右向きに 40 m 移動した。以下の問いに答えなさい。



(1) この間、物体を引く力がした仕事は何 J か。

(2) 物体を引く力がした仕事の仕事率は何 W か。

(1)	J	(2)	W
-----	---	-----	---

2. 質量が 100 g で温度が 20℃ の水を加熱したところ、水の温度が 25℃ になった。水の比熱を 4.2 J/(g・K) として、以下の問いに答えなさい。

- (1) 水 100 g の熱容量は何 J/K か。
- (2) この水の温度を 20℃ から 25℃ まで変化させるために必要な熱量は何 J か。
- (3) 20℃ を絶対温度で表すと何 K か。

(1)	J/K	(2)	J	(3)	K
-----	-----	-----	---	-----	---

仕事と仕事率 (復習)	温度と熱 (復習)	解答送信用のページ
		

## 2 時間目 生物の生育と光

2-2 5月14日(木)2限目

2-3 5月13(水)3限目

本時の学習内容：「生物の生育と光」

本時の到達目標：1. 葉が緑色に見える理由がわかる 2. 光—光合成曲線が理解できる

教科書該当ページ：p. 16～p. 21

その他必要な教材：問題集 p. 6～7

学習手順：①教科書の p. 16～21 を読み、問題集の p. 6 の空欄を埋め、答えあわせする。

②1. と 2. の問題を解く。

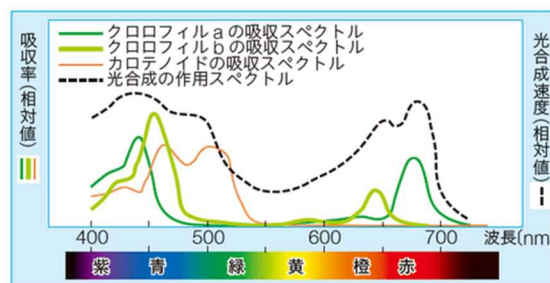
③問題集の p. 7 の問題を解き、答えあわせする。

④ (可能であれば) 問題の解答をインターネットで送信する。

1. 右の図は光合成色素の吸収スペクトルである。光合成色素は主に赤や青の光を (1 ) しているため、緑色の光は光合成に (2 ) 。

植物の葉に当たった赤や青の光が私たちの目に届きにくいため、葉は緑色に見える。

※(2)は「よく使われる」か「あまり使われない」のどちらかで答えよ。



2. 二酸化炭素の吸収速度と放出速度が等しくなる光の強さを (1 ) という。陰葉は、(1)が (2 ) ため、わずかな光でも生育できる。

※(2)は「高い」か「低い」のどちらか答えよ。

解答送信用のページ→



このプリントは5月20日(水)に提出です。